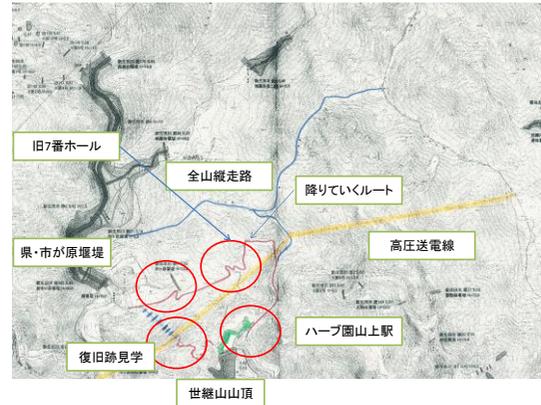


神戸カントリー倶楽部 (布引ハーブ園:市が原)について

2018/12/11 現地調査

2018/12/11 世継山(市が原)見学 (by KTEC)コース



昭和42年災害

- ・ 発生日時 昭和42年7月8日から9日(神戸で最も雨が激しかったのは7月9日20時頃で、その時刻は災害の発生した時刻と一致)
- ・ 昭和42年の6月末、日本列島はようやく梅雨前線が西日本に停滞。8日に熱帯低気圧となった台風7号が、次第にその勢力を弱めながら近づき、これに刺激された梅雨前線が活発な活動をはじめ、記録的な集中豪雨となった。(阪神地域のみならず、長崎、佐賀、広島各県など、広い範囲で発生)
- ・ 神戸における雨量は、24時間で最大319.4mm、
- ・ 1時間で最大75.8mm。(神戸周辺に降雨域が停滞)
- ・ 六甲山地の被害 表六甲に集中。各地で山崩れが生じたほか、河川の氾濫による浸水や土砂の堆積などによる被害発生。
- ・ 神戸市葺合区(現中央区葺合町)市ヶ原の世継山斜面では、約5,200立方mの土砂が崩壊し、ふもとの市ヶ原集落を襲い、多くの人家が土砂に飲み込まれ、21名の人命が失われた。
- ・ 神戸市内被害:家屋の全壊流出361世帯、半壊376世帯、床上浸水7,759世帯、床上浸水29,762世帯。死者は84名、行方不明8名

S42(1967)災害世継山山上:写真は神戸市ホームページから(毎日新聞、神戸新聞提供)



10ヶ月後



42年災害崩壊状況
(神戸市公園緑地部資料から)



布引貯水池から当時のゴルフ場クラブハウス



18ホールの無理なゴルフ場開発が原因と裁判になり、その補償が大きな社会問題となった。

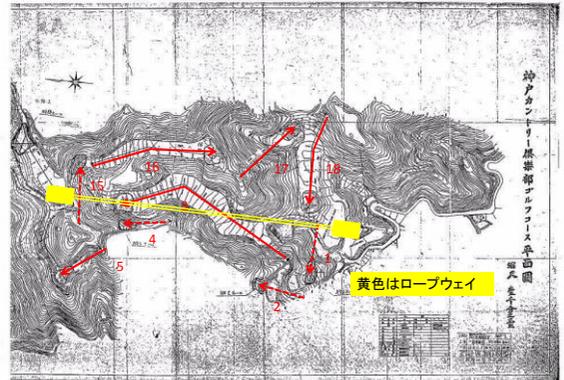
最終的には神戸市が5億6千万円で買収し、ゴルフ倶楽部はその資金で補償した。

1972年(S47)神戸市都市整備公社が神戸カントリークラブから先行買収後、
1974年(S49)神戸市企画局は跡地の土地利用計画として大学や高等学校用地などを検討。
1977年(S52)跡地を都市公園にする含みで神戸市企画局から土木局に移管。

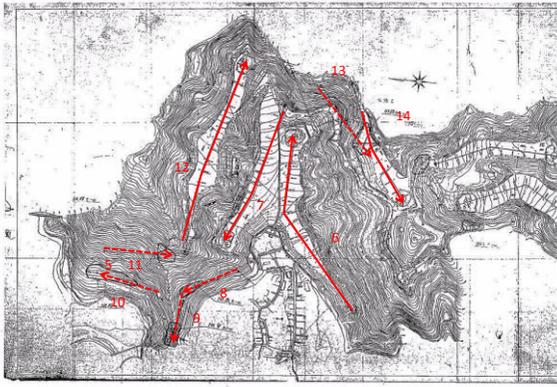
昭和61年頃
(ハーブ園整備直前)



神戸カントリークラブ(布引ハーブ園)1



神戸カントリークラブ(布引ハープ園)2



昭和37年のゴルフ場造成現場

造成中の昭和36年にも崩壊を起こして、1名が亡くなっている。



世継山南側ではないかと想定する。狭い尾根の上にコース(4番?)が整備されている。右上の法面上部が展望レストハウス前の展望台。

現在のハープ園風の丘と思われる。18番ホールと思われる。右の斜面上から17番打ち下ろし

森林整備事務所保管写真より

昭和37年造成現場2

森林整備事務所保管写真より



場所は不明だが、北側ゾーンではないかと思われる。6番7番ホールではないか(南側にはこのような広い場所はとれない)



昭和37年崩落現場跡の復旧

昭和37年12月

森林整備事務所保管写真より



場所は不明だが、北側ゾーンではないかと思われる。背後は高雄山ではないかと思われる。7番ホールではないか



北側の7番か13番ホール辺りと思われる。

昭和37年12月

森林整備事務所保管写真より



場所は不明だが、中央右の堰堤から北側6番ホール付近ではないか

場所は不明

昭和37年12月

森林整備事務所保管写真より



場所は不明だが、奥中央が世継山ではないかと思われる。



場所は不明だが、世継山から市が原の集落を見たところではないか

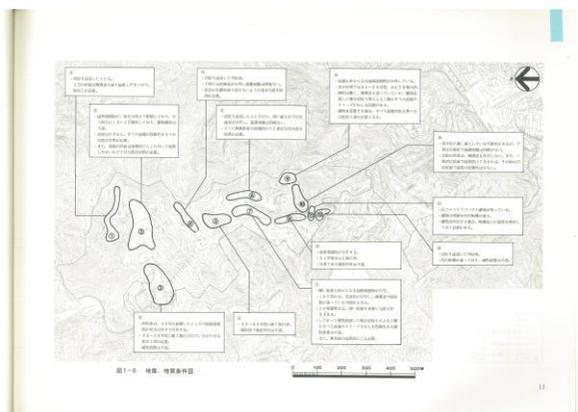
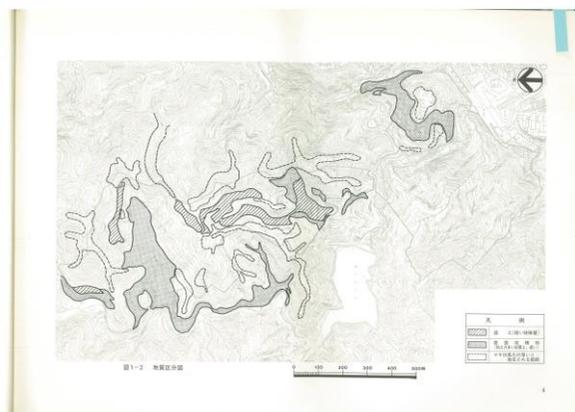
昭和37年12月

森林整備事務所保管写真より



場所は不明だが、北側の6番ホールか7番ホール付近ではないか







左 世継山山頂から市街地
(南側)
下左 世継山山頂からガラスハウス
下右 斜面状況(旧4番ホール方面)



12番ホール辺りと思われる。(草刈り予定)



正面が開けている

北側 切土法面跡と思われる箇所



岩盤

崩壊斜面 復旧山腹工事石積み



夏に撮影

石積み

神戸土木築造：市が原堰堤(砂防)



夏に撮影

砂防堰堤前面

当日状況写真

六甲砂防 説明板

